

通信 〇B 〇B 〇B 〇B 〇B 〇B 〇B 〇B 〇B 〇B



■ 長野東高等学校同窓会報 ■

・発行・ 長野県長野東高等学校同窓会 〒380 長野市大豆島2743-1 ☎0262-21-8111

発行責任者/朝日 学
編集責任者/鈴木 敏
印刷所/日體社

20周年行事概要固まる

新年を迎え、いよいよ東高は20周年の年。記念事業の企画は各小委員会で具体的になりつつあり、10月に向け概要がほぼ固まった。同窓会では名簿の発行、記念講演会、記念品の贈呈を企画し、以下の通り計画を進めている。

記念講演会

20周年に在学する母校の生徒に何かメッセージを残そうと企画された。すでに会場には県民文化会館大ホールを決定した。講師は、理事会において国際社会、環境問題などのテーマから講師の選考を開始、第1次候補に具体的折衝に入っている。なお、OB・父兄はもちろん無料で参加できる。

開催は10月20日。

皆さん御参加下さい。

名簿発行

10周年に続き2度目の発行となる。既に卒業生には住所等確認が行われ、同時に卒業生中心の広告掲載者募集が進められている。6月に発行される。

記念品贈呈(校内緑化事業)

記念事業小委員会では度重なる検討の結果、正門までの並木を決定した。専門の樹医(木のドクター)に診断を依頼し、グランドの道路ぞいに土手を築いた後木を植える。昨年10月には校歌にちなんだモミの木が植えられており、数年後には母校に立ち寄った際、見事な並木に迎えられるそうだ。



記念式典

10月22日(土曜日)、学校内の体育館での開催が決まった。記念演奏なども企画されている。この式典にはOBはだれでも参加できる。

なお、講演会や記念式典の詳細については10月17日の信濃毎日新聞紙上に掲載されますが、OB通信でもお知らせする予定です。

はがきの発送について

現在皆さんに住所確認のはがきが送付されています。(在学当時の会員名簿・10周年名簿により送付)住所が変わっていないくとも、また名簿の購入の有無に関わらず、必ずはがきの返送をお願い致します。
【今からでも間に合います。】

広告掲載 御協力依頼

OBの皆さんには名簿への広告掲載のご協力をお願いしています。業者より依頼のあった際にはどうか快くお引き受けいただきますようお願い申し上げます。

長野東高校20周年記念事業概要

- 記念式典 10月22日(土)
- 新聞掲載 10月17日(月)
信濃毎日新聞紙上
- 同窓会名簿 6月発行
- 記念講演会 10月20日(木)
- 同窓会事業 校内緑化
- 記念誌 記念式典配布

制服自由化へ 試行スタート

制服自由化か？ 標準服制度試行へ

東

現在の制服制度が変更されることとなった。

高の制服制度が変更されることとなった。修学旅行などの一定の行事にのみ義務づける「標準服制度」がこの11月から試行された。

生徒会での制服論議は特に女子制服を中心に長く続けられてきたのだが、昨年(18期)の生徒会が本格的に取り上げ、今年(19期)その流れを受け継ぐかたちで「原則自由化要望」を決議した。

制服については廃止の意見は多いものの、存続を希望する声やデザインの見直しを望む声も

あり、廃止が圧倒的多数とはいえない状況といえる。

これまで学校は生徒会の制服廃止の申し入れに対し、「服装検討委員会」を独自に設置、父母やOBの意見聴取、新入生にアンケートなどを重ねてきた。7月の文化祭では同窓会朝日会長を交えて公開討論会も実施されている。

そして即時完全自由化ではなく段階的な標準服制度試行を選択したものだ。生徒会への回答書には試行期間を高校生としての自覚を論議する期間としての活動・討論を期待する旨のコメントも付けられ、学校側、生徒側双方に学校や高校生の行動の在り方を再認識する絶好の機会になりそうだ。

か

ねてから生徒会執行部が公約として掲げていました制服完全自由化問題が、ついにパネルディスカッションという公開討論で実現しました。文化祭の初日、母校の第一体育館において、全校生徒、学校側先生方、PTA代表、同窓会代表が一堂に会して、一時

間半に渡る意見の交換がおこなわれ、生徒会執行部の公約実現に向けた並々ならぬ意気込みを感じとれました。生徒会執行部

制服問題で パネルディスカッション

朝日会長が参加

は完全自由化を主張し、学校側のしのため会側は制服の存続を強く望み、時間内での双方の歩み寄りには残念ながら見られませんでした。しかし、生徒の中には存続を希望する声も聞かれ、あらためてこの問題の難しさを目の当たりにしました。ちなみに同窓会としましては、あくまでも参加した会長の

一個人の見解と

して、精神的にも肉体的にも伸び盛りの時に制服という枠でしばってもよいのだろうか、また、自由化はそれこそ自由で斬新な思考能力を伸ばす手段になり得るのではないかとという考えから、制服自由化に賛同の姿勢で公開討論会に臨みました。



この問題を取り上げてきた東高新聞紙面の一部



パネラーとして参加した朝日会長(右)

『アンケートを見る』

一学期に、保護者・同窓生・本校教職員を対象に行われたアンケートの結果の主な部分を記録しておく。(%)

▼本校男子制服のイメージ

- a 好ましい 保・同・教 32・16・7
- b 普通 54・38・49
- c 好ましくない 10・3・29
- d 何も思わない 2・3・3

▼女子制服のイメージ

- a 好ましい 15・24・11
- b 普通 39・24・43
- c 好ましくない 42・53・43
- d 何も思わない 3・0・1

▼高校生の服装でよいのは

- a 完全自由化 17・21・40
- b 標準服制度 26・27・26
- c 制服制度 50・53・31

▼生徒会の完全自由化提案について

- a 賛成 27・24・49
- b 反対 18・18・11
- c どちらでもよい 55・59・40

▼「反対」の方はどんな制度がよいか

- a 今の制服継続 36・5・29
- b 今の制服不十分 8・15・7
- c ハ今のを標準服に 26・10・7
- d ニ新制服を作る 31・45・43
- e ホその他 8・5・7

(東高新聞第68号より)

今年いよいよ 母校創立20周年

同窓会長 朝日 学

新

年あけましておめで
とうございます。
昨年は景気の低迷

政治の混乱等のさまざまな嵐
が吹き抜けた年でありました
が、今年こそは明るい年を期
待したいものです。

さて、2面の記事のとおり、
母校では創立20周年を目前に
ひとつの変革がおきました。
『標準服制度』というそうで
すが、生徒の熱心な訴えが学
校側を動かし、制服着用義務
を一部残しながらも自由化と
なりました。同窓生の一人と
して寂しい感もなきにしもあ
らずですが、これも時代の流
れでしょう。一時心配された
制服の乱れも私が見た限りで
はそう悪くもありませんし、
生徒もちゃんと考えているな
と安堵しているところでは
す。制服で生活された皆さんに
きつと驚かれると思いますか
ら、一度母校を訪ねてみては
いかがでしょうか。そしてご
意見をお聞かせ下さい。
今年はいよいよ母校創立20
周年です。本当に20年たった
んだなど、そのときの流れの
速さに、溜め息の出る複雑な
思いです。記念式典が10月に



予定され、準備が着々と進ん
でいます。大変多くの方々の
ご協力にあらためて御礼申し
上げます。10年に一度発行の
同窓会名簿編纂作業も順調で、
ご期待に添う名簿をお届けで
きるかと思えます。同窓会の
皆さん、ぜひ一冊いかがでしょ
うか。必ずお役に立つと確
信します。発刊の主旨をご理解
の上、ご協力をお願い致しま
す。

また、学区制問題、入学定
員の削減等、取り巻く状況は
絶えず動いています。私
たちはいつまでも温かい目で母
校を見ていきたいと思ってい
ます。



長野東高等学校同窓会役員 (H6総会まで)

○数字は在学会期

会 長	朝日 学①
副 会 長	河原田 勲① 三ツ井豊一① 鈴木 敏③
理 事	伊藤慶一① 塩入康司① 橋本佳幸① 松山 敏① 松本一展③ 松橋幹生④ 山岸和子⑦ 倉島信子⑨ 山本富識⑫
評 議 員	袁 茂 幸① 山岸伊久雄① 石田正路② 高橋秀俊② 金丸 清③ 高橋京子③ 長田奈津子④ 中村博幸⑤ 原田みどり⑤ 松川清一⑥ 宮原深雪⑥ 岡沢 信⑦ 伊藤きくえ⑦ 藤沢健男⑧ 宮下景子⑧ 池田優弘⑨ 山崎なおみ⑨ 田中一之⑩ 松本美加⑩ 渡辺裕司⑪ 羽田利博⑪ 長田秀隆⑫ 藤沢美子⑫ 丸山広史⑬ 小柳美穂⑬ 西沢正隆⑭ 坂上久美子⑭ 小松伸也⑮ 鈴木朋子⑮ 山本貞也⑯ 千野久美恵⑯ 小山拓也⑰ 岡田聡美⑰
事務局長	大平邦夫①
書 記	水内昌佐枝⑩ 吉田俊視 (学校事務長)
会計監査	松橋春海① 肥田雅宏④
顧 問	跡部和夫 (校長)
参 与	樋口和雄 (教頭)

《同窓会担当職員》

事務長	吉田俊視
教 諭	吉沢義文 神林忠克 青木布江

1994

迎春

本年も
本よろしく
お願いします。

長野東高校
同窓会役員一同

平成5年度 同窓会総会報告

平成4年度(平成4年4月〜平成5年3月)の活動方針を審議する同窓会総会が6月7日に行われ、次のような結果となった。

1 事業報告

本年度は創立20周年に向けた準備が順次進められた。名簿の発行については原本となる原稿を用意し、実質的な作業がスタート、もう一つの柱である記念事業については各方面からの検討が進められた。

恒例である新入生、卒業生への記念品については、新入生にはバッジ、卒業生にはコーヒークップを贈呈した。

2 会計報告・予算案

初の会報発行にともない会報発行費を計上した。また新年度以降も引き続き発行する。

3 事業計画

7月、文化祭の中の企画として、在校生との意見交換会が予定された。また20周年関連の会議が順次予定されている。

4 慶弔規定の新設

同窓会会則に慶弔規定がないため、以下の内容で新設した。
表彰 同窓会に功績のあったものに表彰状・記念品を贈る
弔意金 会員の死亡には弔意

記念品

金をもって弔意を表する(50000円) 学校職員に転退職のあった場合には記念品を贈る。

「勤務期間」

4年以上80000円
4年未満50000円

5 役員改選

同窓会で事務局を構成することとし、新たに大平理事を事務局長に、10期生の水内さんを書記に選出した。理事に新任として12期生の山本くんを選出、また校長先生・教頭先生の異動により顧問・参与に新任となった。

アイデア・企画募集

アイデア・企画、また意見などなんなりと事務局にお寄せください。
〒380 長野市大豆島2743-1 長野東高等学校内

学校新聞から話題を拾ってみました。

東高の新聞は朝日新聞の賞をもらう、日本でも有数の新聞なのです。

東NOW高

現在の学校の様子、また生徒はどうなっている?

修学旅行の印象。



(上) 長崎のグラバー街で (下) ハウステンボス



印象深く好評の九州

阿蘇、柳川、長崎など

修学旅行 平和学習は小浜で

修学旅行の中で最も印象的だったのは、阿蘇、柳川、長崎など九州各地の観光地を訪れたことだ。阿蘇では、阿蘇山をめぐり、阿蘇五湖をめぐり、阿蘇の自然の美しさを堪能した。柳川では、柳川川をめぐり、柳川の歴史と文化を学んだ。長崎では、長崎の歴史と文化を学んだ。また、小浜では、小浜の歴史と文化を学んだ。修学旅行を通じて、九州の自然と文化の美しさを堪能し、平和学習の大切さを学んだ。

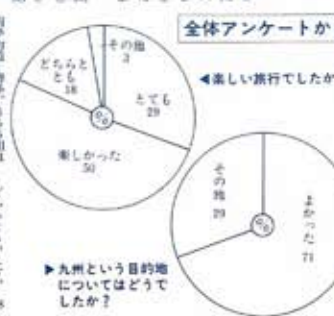
各クラブの活躍。

女子バレー部は県大会へ

女子バレー部は、県大会に出場し、活躍した。男子バレー部も、県大会に出場し、活躍した。サッカー部も、県大会に出場し、活躍した。バスケットボール部も、県大会に出場し、活躍した。テニス部も、県大会に出場し、活躍した。卓球部も、県大会に出場し、活躍した。柔道部も、県大会に出場し、活躍した。剣道部も、県大会に出場し、活躍した。空手部も、県大会に出場し、活躍した。少林寺拳法部も、県大会に出場し、活躍した。弓道部も、県大会に出場し、活躍した。射撃部も、県大会に出場し、活躍した。水泳部も、県大会に出場し、活躍した。陸上競技部も、県大会に出場し、活躍した。野球部も、県大会に出場し、活躍した。ソフトボール部も、県大会に出場し、活躍した。バドミントン部も、県大会に出場し、活躍した。卓球部も、県大会に出場し、活躍した。柔道部も、県大会に出場し、活躍した。剣道部も、県大会に出場し、活躍した。空手部も、県大会に出場し、活躍した。少林寺拳法部も、県大会に出場し、活躍した。弓道部も、県大会に出場し、活躍した。射撃部も、県大会に出場し、活躍した。水泳部も、県大会に出場し、活躍した。陸上競技部も、県大会に出場し、活躍した。野球部も、県大会に出場し、活躍した。ソフトボール部も、県大会に出場し、活躍した。バドミントン部も、県大会に出場し、活躍した。



秋季大会で優勝した女子バレー部



修学旅行の思い出、感想、今後の希望などについて、アンケートを実施した。結果、ほとんどの生徒が「楽しかった」と回答し、九州の自然と文化の美しさを堪能した。また、平和学習の大切さを学んだ。今後の希望として、修学旅行の頻度を増やしてほしいという声が多く聞かれた。